

S2-A1

Fujitsu Experience Day 2026

FUJITSU

ソーシャルデジタルツインが拓く 未来の街づくり

2026年7月16日

© 2026 Fujitsu Limited

変化に合わせた「暮らし」の再定義



少子高齢化・
公共交通の
担い手不足

人口密集/
過疎による
地域内の格差

交通渋滞

環境負荷

地政学リスク・
コスト変動

交通の担い手には、これまで以上に迅速な変化への対応が求められる

交通における、データ・AI活用やEBPM の重要性

社会全体をデジタル化 施策の改善・高度化を支援

デジタル空間での施策の事前検証

人々や社会のモデル

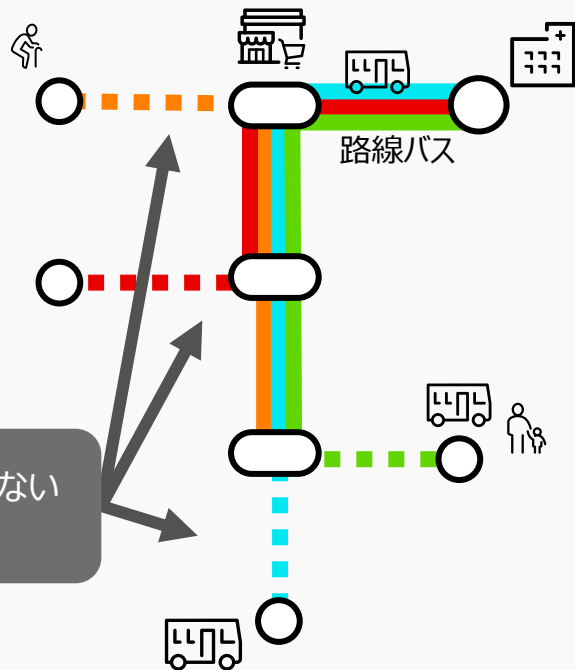
デジタル空間に再現された実世界データ

センシング

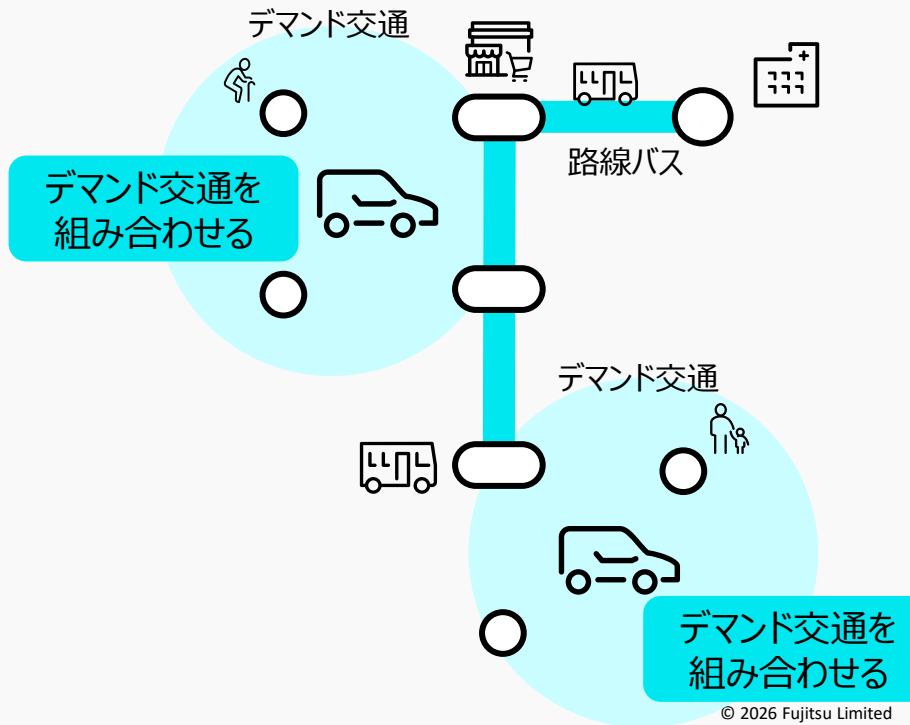
実世界



従来のバスを中心とした交通網



デマンド交通を組み合わせた新しいモビリティ社会



課題とソーシャルデジタルツインによる効果

現状

アナログに施策を検討
時間とコストの浪費が発生



将来像

データに基づき高度にシミュレーション
迅速な合意形成と施策実行



データ入手や検討の長期化

「利便性」と「経済性」のトレードオフで合意が難航

やってみないとわからない

時間とコスト

合意形成

施策効果

オープンデータ×信頼できる技術で迅速に設計

多様な選択肢とKPI評価に基づき合意形成を促進

効果予測に基づく実行、PDCAの高頻度化

迅速な合意形成ができる理由



施策の効果 デジタルに見ながら、迅速な合意形成と施策実行

有効！

	シナリオ① 現状	シナリオ② バスルート短縮	シナリオ③ バスルート短縮 + デマンド交通 1 台追加	シナリオ④ バスルート短縮 + デマンド交通 2 台追加
バス で移動する人数	2,300名	↓ 2,000名	↓ 2,100名	→ 2,200名
デマンド交通 で移動する人数	150名	→ 150名	↑ 170名	↑ 190名
自家用車 で移動する人数	9,000名	↑ 9,500名	↑ 9,300名	→ 9,000名
徒歩 で移動する人数	25,000名	→ 25,100名	→ 25,000名	→ 25,000名
サービスレベル	—	↓ △	→ ○	↑ ◎
収益（現状比）	—	90%	95%	100%

事例（国土交通省COMmmmmONSでの取組）



企業情報 ▼

Press Room

株主・投資家情報 (IR)

採用



検索



産業別 ▼

サービス ▼

知見

Uvance

Uvance Wayfinders

テクノロジー ▼

サステナビリティ

[Press Room](#) > [国内初となる定時定路線型交通とデマンド型交通を組み合わせた総合交通シミュレーションが群馬県前橋市様の地域公共交通計画策定に採用](#)

PRESS RELEASE

国内初となる定時定路線型交通とデマンド型交通を組み合わせた総合交通シミュレーションが群馬県前橋市様の地域公共交通計画策定に採用

国土交通省推進プロジェクトにおいて、持続可能な公共交通の実現に貢献

2026年3月23日

富士通株式会社

uvance

国土交通省が事業実施主体である地域交通DX推進プロジェクト「COMmmmmONS（以下、コモンズ）」において当社が受託開発した総合交通シミュレーションシステム（以下、本システム）が、このたび群馬県前橋市様において2026年3月23日に公表された「前橋市地域公共交通計画」の策定に採用され、本システムによる分析結果が、同計画における主要施策の一つであるバス路線増便の方針を裏付ける科学的根拠として掲載されました。

2026.3.23
プレスリリース

まちづくりにおける「共創」のありかた



共創

お問い合わせ

本資料に関するお問い合わせは
以下までお気軽にご連絡ください。



fj-maas-contact@dl.jp.fujitsu.com